



Contents

- ・第35期パワフルAOMORI!創造塾(進捗状況) … P 1
- ・【特集】地域学校協働活動推進のための研修 … P 2, 3
- ・「画伯のたまご」作品紹介 & あおもり県民カレッジについて … P 4

第35期パワフルAOMORI!創造塾(進捗状況)

第35期パワフルAOMORI!創造塾は、全5回のうち、3回目までが終了しました。

個性豊かな35期塾生17名は、講師陣による講義、卒業生による地域活動紹介、そして実践活動コーディネーターの町田直子氏から「得意なことを生かそう!」という助言を踏まえ、話し合いを重ねた結果、種差少年自然の家を会場として、実践活動に取り組むこととなりました。

塾生それぞれの得意なことを、種差という場で、どのようなカタチで実践活動として展開するのか楽しみです。内容によっては、読者の皆様にも参加のお願いがあるかもしれません。その際は、当センターホームページでお伝えいたしますので、随時御確認いただきますと幸いです。

次号(127号2月発行)では、1年間の様子を集めてお伝えします。



パワフルAOMORI!創造塾とは…?

地域活動に係る潜在的な人材を掘り起こし、講義・演習や企画・運営を通して、地域を担う人材を育成するとともに、育成した人材相互及び地域活動に関わる関係者等のネットワーク形成の促進を目指す、当センターの主催事業です。

右の二次元コードを読み取ることで、ホームページ内アーカイブ(事業報告)にて、この講座の様子を確認できます。講座の様子は随時アップしていきます。

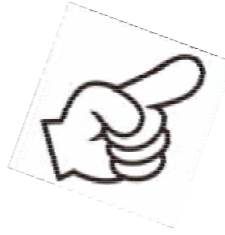


〔担当〕 育成研修課

TEL 017-739-1253

メール E-SHAKYO@pref.aomori.lg.jp

地域学校協働活動推進のための研修



地域学校協働活動の推進に向けて、地域と学校が協働する仕組みづくりに関わる市町村教育委員会担当者や地域学校協働活動推進員等の資質向上を図る研修会を開催しました。



さるわたり ともえ

講師 猿渡 智衛 氏

福島県檜葉町地域学校協働センター長
福島県檜葉町教育委員会 指導主事

I 講義 「地域と学校の連携・協働の推進について」

福島県檜葉町で取り組まれた事例から

主に3つのことが解決しました。

地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的な推進の重要性

地域材(★)を統合・ネットワーク化することで、教育効果を高めるとともに、参画する地域人材の「地域とともにある学校」と「学校を核とした地域づくり」の意識を高めることで、計画的・継続的で安定的な地域と学校との連携・協働関係が構築されます。

結果として、地域に根差した学校となり、学校での諸活動が地域づくりにつながります。

(★地域材…地域にあるもの。自然や文化、また施設等)

地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的な推進のための「仕組み」

教育委員会が主導して「檜葉町地域学校協働センター」を立ち上げました。そして、多様な地域学校協働活動の展開として以下の4つを行い、地域住民のニーズに基づき、多様な形で参画可能にしました。

- ①地域における社会教育の展開
- ②学校教育における授業支援
- ③地域と学校の連携協働
- ④学校施設を活用した地域連携

地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的な推進で目指す地域づくり

地域政策としての地域学校協働活動という認識を大切にしました。コミュニティ・スクールや地域学校協働活動に参画した地域住民のシビック・プライド(地域への誇りと愛着)が、地域づくりの大きな効果につながっていく可能性があります。

Ⅱ 事例報告 「青森県内各地区の取組報告」



報告者 … 工藤 清子 氏 くどう せいこ } 今別町教育委員会
統括的地域学校協働活動推進員

大馬 義明 氏 おおば よしあき } 今別町教育委員会 主幹



【報告内容】

- ・ 学校支援事業、家庭教育支援事業、放課後子ども教室推進事業について
- ・ 乳幼児から大人になるまで地域全体となって子育てする体制



報告者 … 境 真宏 氏 さかい まひろ } 五戸町教育委員会 教育課
社会教育班 主事

【報告内容】

- ・ これまでの地域学校協働活動の経緯、活動事例の紹介
- ・ 学校と地域の連携における成果と課題



報告者 … 柿崎 竜平 氏 かきざき りょうへい } 三沢市教育委員会 生涯学習課
課長補佐兼生涯学習係長

【報告内容】

- ・ 学校運営協議会、地域学校協働活動の現状
- ・ 令和5年度からの学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的な推進について

Ⅲ アンケートより

「学校のために地域が…」ではなく、「地域をよくするための一つが学校である」という発想に納得しました。

学校と地域が手を取り合って地域づくりに取り組んでいる様子がよくわかりました。「地域運営学校」という表現がしっくりきました。推進センターの設立が功を奏していますし、校内に「地域サロン」(★)があるなど、学校が地域住民にとっても貴重な場になっていると感じました。

(★地域サロン…学校内に地域住民が気軽に集う場のこと)

それぞれの取組にオリジナリティーがあり、それぞれがとても参考になるものでした。資料や発表も分かりやすく、もっとたくさんの市町村の取組も聞いてみたいと思いました。猿渡先生の助言もとても参考になりました。

猿渡先生のスピード感溢れるご講義、あっという間の素晴らしい時間でした。私たちの活動の目的がより一層明確になり、今後の活動への意欲がみなぎってきました。

〔担当〕 教育活動支援課

TEL 017-739-1270

メール E-SHAKYO@pref.aomori.lg.jp

右の二次元コードを読み取ることで、ホームページ内アーカイブ（事業報告）にて、この研修の様子を確認できます。



ギャラリー「画伯のたまご」

当センターの2階展示スペースでは、年間を通して幼児・児童・生徒の作品を展示しています。8月から2月末までは、県内特別支援学校の授業や部活動等で制作された作品を展示しています。

8月は青森第二養護学校から34点、9月は青森聾学校から31点の作品を展示しました。2校ともオリジナリティーに溢れ、見ていて笑顔になるような作品を展示していただきました。その一部を紹介いたします。



青森第二養護学校小学部4年生の榊 昂生さんの作品です。本人から作った感想として「ねぶたのイメージで作りました。塗ったり、貼ったりするのが楽しかったです！」



青森聾学校幼稚部の皆さんの作品です。お泊まり学習事後学習で作成した作品です。浅虫水族館で見学したクラゲやチンアナゴなど、さまざまな魚が表現されています。

あおもり県民カレッジについて

あおもり県民カレッジは、知事を学長とし、青森県教育委員会が実施する生涯学習支援システムです。今年度で開設26年目を迎え、学生数は、教養学習コース（高校生以上対象）が2万5千人以上、子どもカレッジコース（中学生以下対象）が4千人以上となっています。

県民カレッジに入学し、県内各地の連携機関等が実施する講座を受講したり、体験施設等を見学したりした内容を、学習記録に記していただければ、「単位」として認定されます。100単位になると、申請すれば認定証が交付されます（子どもカレッジコースでは50単位）。学習記録は、「県民カレッジ手帳」にファイルしておけば、自身の学習の足跡の確認もできます。

〔担当〕 指定管理者

学び・生かすあおもりグループ

TEL 017-739-0900

メール alis02@jomon.ne.jp

右の二次元コードを読み取ることで、ホームページ内で指定管理者学び・生かすあおもりグループについて確認できます。



編集・発行

青森県総合社会教育センター

〒030-0111

青森県青森市大字荒川字藤戸119-7

TEL:017-739-1252 FAX:017-739-1279

「響」に関わる御意見は下記のアドレスへ

E-SHAKYO@pref.aomori.lg.jp

件名に「響 126号について」と御記入下さい。

「響」
バックナンバー



センター
ホームページ



センター
フェイスブック



センター
インスタグラム



SHAKAIYOUIKUCENTER